

第1編

偏差値20アップ・学習方法

【算数編】

なぜ塾の指導方法では成績が上がらないのか！

成績を上げる本物のフコの指導法とは！

親御さんからよくある質問に「塾に行って頑張っているのに成績が伸びないんですが…」というものがあります。驚くべきことに、塾に通っている中学受験生の8割以上の子は成績が上がっていないのです。勉強そのものをしない子は別として、勉強をしているにもかかわらず、成績が上がらないのは、何故でしょう。

答えは簡単です。「やみくもに問題演習ばかりやらされているからです。」野球に例えるなら、やみくもにバットを振り回しているだけで成果が見られないのと同様です。ではどうしたら成績が上がるのでしょうか。

これも簡単です。各テーマの根本原理をおさえた上で問題演習することです。これも野球に例えると、「どんなバッティングフォームがいいのか？」「どこの筋肉をきたえればいいのか？」など、バッティングのメカニズム（根本原理）を理解した上で分析的に練習をすることが重要なと同様です。

そのため指導者（親も含む）は、1問1問の解説をする前に、導入として各テーマの「根本原理」の指導をし、その上で、この根本原理が1問1問にどのように応用されているのかを指導する必要があるのです。

しかし塾では、特に6年生ともなると、より入試問題に近いレベルの高い問題も解説しなければならないため、根本原理を丁寧に指導する時間がありません。そのため、4年、5年生時に根本原理をマスターしきれていない子は、やみくもに問題演習ばかりをさせられ効率の悪い学習を強いられているのです。①メカニズム（根本原理）を理解させた上で→②問題演習をするという学習をさせることができれば、うそのように簡単に成績は上がるのです。

重要なのは、成績が上がらないからと言って、解く量を増やしたり、難しい問題にチャレンジすることではなく、逆に、偏差値40くらいのやさしい問題のうちいかにメカニズム（根本原理）をイメージとして習得できるかなのです。これは偏差値70を目指す子にとっても当てはまります。ようは勉強の質が重要なのです。

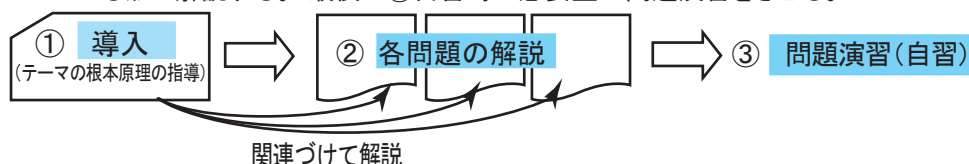
そこで、当会では、「易しい問題のうちにメカニズム（根本原理）のイメージを習得」できるように、各テーマの「導入」に重点を置いた教師指導用教材として「偏差値20アップ指導方法」を開発・編集しています。集団塾では不可能な、「1人の子供の成績をいかに上げるか」「いかに効率よく短期間で成績を上げる指導ができるか」という戦略的指導方法として講師指導に役立てています。これは、本来プロの講師指導用教材として作成しましたが、本気で成績を上げたいお子さんや親御さんにとっても十分役に立つものとなっています。

1 成績が上がらない塾・一般フコの解説方法 = 1問1答的な解説 … 1問1問バラバラの解説の場合が多く、クイズのように問題の数だけ答えを覚えさせるような学習になり、成績が上がりにくくなる。



2 成績が上がる20アップ指導方法 = ①根本原理の導入→②各問題の解説→③問題演習（復習） …

①まず、各テーマ全体の根本原理を指導する。その後に、②各問題を根本原理と関連づける形で解説する。最後に③自習時に必要量の問題演習をさせる。

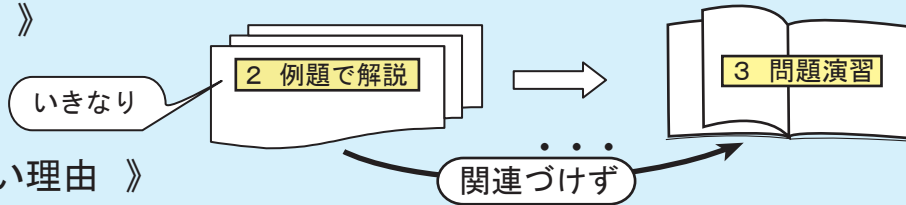


目 次

序章	算数の偏差値20アップ学習方法とは？	0-3
第1章	濃度の20アップ学習方法	1-1
第2章	差集め算の20アップ学習方法	2-1
第3章	約数の20アップ学習方法	3-1
第4章	倍数の20アップ学習方法	4-1
第5章	規則性の20アップ学習方法	5-1
第6章	割合・相当算の20アップ学習方法	6-1
第7章	売買算の20アップ学習方法	7-1
第8章	比の性質と計算の20アップ学習方法	8-1
第9章	倍数算の20アップ学習方法	9-1
第10章	旅人算の20アップ学習方法	10-1
第11章	通過算の20アップ学習方法	11-1
第12章	速さと比の20アップ学習方法	12-1
第13章	平面図形1 辺の比と面積比の20アップ学習方法	13-1
第14章	平面図形2 角度・長さ・面積の20アップ学習方法	14-1
第15章	立体図形の20アップ学習方法	15-1
第16章	場合の数の20アップ学習方法	16-1

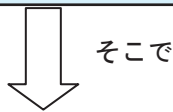
1 成績が上がらない塾・一般プロの解説法 … 1問1問の解説をバラバラにする方法

《 学習イメージ 》



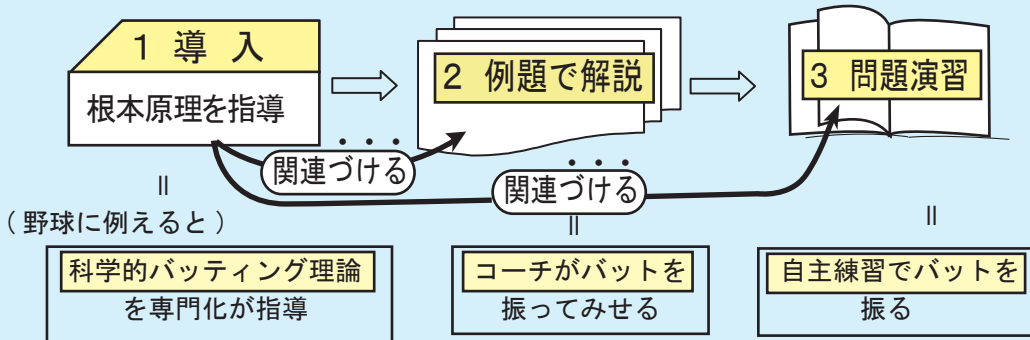
《 成績が上がらない理由 》

- ① 塾での解説自体はプロの解説と言っていいでしょう。しかし、成績が上がらない子が8割以上いることも事実です。塾では毎週のカリキュラムをこなさなければいけないので、「導入に時間をかけたり」「テーマの全体像を示す体系的な講義」ははできません。そのため、クイズの答えを覚えるのと同様に、問題の数だけ答えを覚えなければなりません。結果として、時間ばかりかかり非常に効率の悪い学習をさせることとなります。
- ② このような1問だけの解き方を教える解説は、テキストの解答を再現しているだけです。親御さんや気の利いた大学生でも少し勉強すれば可能なのです。(塾のテキストに載っている解答は、カレーの箱に書いてあるカレーの作り方と同じです。一般的・基本的な解答で、必要最低限の解答なのです。「一人ひとりの子供により分かりやすくするためにはどうすればよいのか」「子供の成績をどう上げるか」というノウハウは入っていません。)

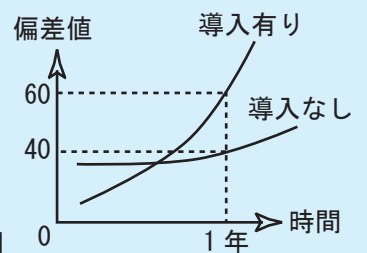


2 成績が上がる濃度の20アップノウハウに基づく指導法のまとめ

《 学習イメージ 》



《効果》



《 成績が上がる理由 》

- ① 「導入」で「根本原理」を解説するには、余分な指導時間が必要だが、各テーマの根本原理をイメージでき、個々の問題演習で効率的な学習ができるため、逆に短時間でマスターできる。
- ② 小学校では、まず「教科書」で根本原理を学んだ後に、「問題集」を解いているはず。問題を使っていきなり解説するのは、無理があると考えられているからである。塾式の学習ではなく、学校式の学習が基本中の基本。
- ③ はじめに、「根本原理」を詳しく絵や図などを使って指導すると、子供にも受け入れられやすく、勉強に対する興味を引き出しやすい。これらの結果として、導入を省略して、問題演習ばかりやる学習方法よりも、演習量が少なくて済み、また、記憶も長続きして、逆に短時間で実力がつくのである。次の具体例で確認してください。